

やどかりの里の危機的状況を乗り越えるために

年末の寄付のお願い

日頃よりやどかりの里の活動へのご支援、ご協力ありがとうございます。今年も残り少なくなりました。さて、やどかりの里はこれまでになく厳しい年末を迎えようとしています。昨年の同時期と比べると、2000万円以上の減収です。この状況では、職員に例年通りの賞与を支払うことも困難になっています。

減収の主な理由の1つは、障害福祉サービスの日額払いの仕組みと今般の物価高の影響によるものです。ここ数年の新型コロナの影響等でやどかりの里を足がかりに退院する人たちが少なくなりました。また、多様な人たちを受け入れているため、毎日通所する人は少なくなっています。また、周辺の環境も大きく変わってきました。駅の近くに立地する事業所、送迎が付き、通所すれば一定の工賃の支給、給食が無料であるなど、営利目的の事業所が乱立しています。職員の非常勤化によってこれらのサービスが成り立っているのではないのでしょうか。障害福祉の質の低下は厚労省や財務省も把握していますが、数の増えた障害福祉事業所の質の向上に有効な対策がとられていません。

やどかりの里は精神障害のある人たちの実態とニーズを土台に活動を行ってきました。55周年という節目を目前に、改めてやどかりの里の実践を振り返り、必要な情報が必要な人に届いているのか、切実なニーズに応えるためにやるべきことは何か、メンバー、家族、職員がそれぞれの知見をもとに点検し、今後の見通しを立てていくことが必須であると考えています。

しかし、まずこの危機的な状況を皆様のご協力で跳ね返していきたいと、ご協力をお願いする次第です。公益社団法人という法人格を続けていくためには、毎年3,000円以上の寄付者100人をクリアしていかななくてはなりません。

年末を迎え、何かとお忙しい時期とは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 寄付のお願い 1口3,000円以上（何口でも）
2. 法人会員をあげてください 年会費10,000円
*総会での議決権があります。機関紙「やどかり」、所報「やどかり」が届きます。
3. 賛助会員をあげてください 年会費2,000円
*機関紙「やどかり」が届きます

2023年12月

公益社団法人やどかりの里
理事長 増田一世